東京交通新聞

東京交通新聞社
〒160－0022
東京都新宿区新宿2－13－10
電話（代）03・3352・2181
編集　03・3352・2182
出版　03・3352・2183
販売　03・3352・2184
広告　03・3352・2185
ＦＡＸ03・3352・2186
編集発行人　仁平 英紀
振替口座東京00110－7－52616
©東京交通新聞社 2020

全タク連理事会

現場を大事にする（秋川国交省自動車局長）

菅政権の評価分かれる

「規制改革」を警戒（川鍋会長）

全国ハイヤー・タクシー連合会（川鍋一朗会長＝日本交通会長、東京）は15日、東京・市ケ谷の自動車会館で理事会を開催、菅義偉政権への評価について、出席した国土交通省の秋川直也自動車局長との間で考え方が分かれた。秋川局長は「総理はびっくりするくらい現場を大事にする。タクシーにとって、デジタル化にしても皆さんの要望を実現しやすい環境にある。良い政権だと思う」と述べた。一方、川鍋会長は、政権の規制改革方針に米Ｕｂｅｒ（ウーバー）も絡めて、あらためて警戒感を示した。

立ってあいさつする国交省の秋川自動車局長。菅政権について、内情を含め大いに語った。左は川鍋会長（15日、東京・市ケ谷）

あいさつした秋川局長は、「規制改革とか、ＤＸ（デジタルトランスフォーメーション＝デジタル化による変革）とか、聞き慣れない単語が出てきたり、川鍋会長が懸念するライドシェアに熱心な人が周りにいたりするが、総理は、普通の人が『もうちょっと、こうならないかな』というような具体的な課題を取り上げ、1個1個実現していく各論的なやり方をする」と明かした。「安倍（晋三・前首相）さんのときは、国のあり方とか、憲法とか大きな目標が根底にあった」と、両者のスタンスの違いを解説した。

観光庁時代の経験談を挙げ、「本当に細かい情報が彼（官房長官時代の菅氏）のところに入ってくる。例えば、台風で新幹線が止まって停電する。乗っている外国人から、菅さんのところに『英語のアナウンスがなくて分からない』とメールが来る。そんなの観光庁で分かるわけがないが、『そういう情報がないからだめなんだ』と怒られて、英語の車内放送をできるようにするとかあった」と具体的なエピソードを披露した。

その上で「制度に精通してくると、悪気はなく真面目に考えてしまう人がいて、議論が固い方向になることもある。今、政権全体の雰囲気が『やってみよう』という感じなので、『新しいことをやって、みんなで喜べばいいというノリでやろう』と（自動車局の）中では話している。皆さんから情報をいただきながら、やっていければ」と語った。

同局長の全タク連理事会への出席は初めて。「新型コロナウイルスが広がって、テレワークやリモートばかり。これだけ多くの人が集まる会議はいいなと思う。名刺交換ができ、私のことも実際に見てもらえる」と話した。

7日の自民党タクシー・ハイヤー議員連盟の総会に触れ、「先生（国会議員）の応援団がすごく多いなと実感した。会議の出席人数はもちろん、その後の車両の見学会にもたくさん来ていた。だいたい、『行きます』と言って来ない場合が多い。ちらっと見て帰るのではなく、よく中を見たり、『いいね』と言ったりしていた」と感心した様子。

「3回目の（コロナ対策の）補正予算をやろうという話がある。先生方は（ニューノーマルタクシー＝新常態タクシーを）『普及するように応援する。一番安全な空間を作ろう』と言っており、頼もしい。予算でわれわれが財務省と戦うとき、後ろに先生がいて応援してくれるだけで、自信を持ってやれる。査定する側もちゃんとやらないとやばいという機運がある」と、予算・税制改正に向けた折衝に意欲を示した。

ライドシェア 推進派の動きけん制

川鍋会長はウーバーに関し、「政治家の先生方にも『だめなやつだよね』とのコンセンサスがかなりできつつあったが、最近、（自転車による料理配達サービスの）ウーバーイーツで何となく世の中に浸透してしまった。これでライドシェアとなったら、以前よりも早く（議論が）進むのは間違いない」と警鐘を鳴らした。一部タクシー事業者とウーバーが提携していることを念頭に、「『タクシーなので大丈夫だ』と、ウーバーに乗ってしまうのは、業界としては自重しなければならない」と述べた。

菅政権について「総理が話を聞いた経済人の間違いなく半分以上は、ライドシェア超推進派の、われわれの『ザ・敵』と言われる人たち。彼らはタクシーに対し、（ライドシェアの導入・制度化を）『止められた』と、じくじたる思いがある」と情勢分析した。

「彼ら（ライドシェア推進派）はこれまでの経験を生かし、『いきなりライドシェアと（政府文書などに）書くと、すぐにタクシー業界が来るから、静かに進行させて、ドンとやろう』と考えているかもしれない。そんなことがあったら、また大騒ぎするが、今はちょっとウーバーが怖い」と思いを吐露した。

さらに「新政権がどういう方向で出るか分からないが、われわれも3～5年前に比べれば、車両もワゴン型になり、キャッシュレス決済機もどんどん導入し、オリンピックを最大限生かして業界全体でアプリを含めて進歩してきた自負がある。これからも事前確定運賃、相乗りをはじめ、進化を続ける」と力を込めた。

ニューノーマルタクシーに備えられる高性能フィルター付き空気清浄機やＬ字型・透明飛沫防止仕切り板を説明し、「お客、乗務員の安全を担保する。目標としては来年の春当たりまで試行錯誤し、オリンピックまでに相当数の車が、そういった装備をしていける状況まで持っていきたい。各地で検討してほしい」と呼びかけた。

「タクの維持 検証しながら」

岩井国交副大臣 ライドシェア巡り発言

岩井副大臣は公共交通の維持に向け、「これまで以上に強力に支援したい」と語った（14日、東京・霞が関）

岩井茂樹・国土交通副大臣（自動車、鉄道、観光など担当、参院静岡・自民）は14日、就任会見し、菅義偉政権が規制改革とデジタル化の推進を掲げる中で、自家用車ライドシェアの導入の検討について、「何に実効性があり、効果があるか。地域経済を支えているタクシーを含めた公共交通が本当に維持、継続できるのか、地域の方々のためになっているのかをしっかり検証しながら取り組むことが重要」との見解を示した。

「極めて慎重な検討が必要」といった従来の公式答弁のフレーズは今回、特に聞かれなかった。

タクシー関係についてさらに、「地域の中で人口がかなり減ってきている。地域交通の中でタクシーの分野はある意味、厳しい状況になっている」と指摘。「ＭａａＳ（マース、移動サービスの連携・統合）もそうだが、そこをどう乗り越えるかは、業界団体の意見もしっかり踏まえて、何か新しい取り組みをしていく必要がある」と語った。

新型コロナウイルスの影響では「地域公共交通が危機に瀕しており、確保・維持することが重要だ。適切な感染防止対策を講じつつ、エッセンシャル（必要不可欠な）サービスとして機能が維持されるよう、引き続き関係省庁と連携し、これまで以上に強力に支援していく」と力を込めた。

国内旅行需要を回復させる政府の「Ｇｏ Ｔｏトラベル」キャンペーンに関し、「感染防止策を徹底した上で需要の喚起を図っていく。コロナ後を見据え、『2030年訪日外国人観光客6000万人』などの目標に向け、取り組みを着実に進めたい」とした。

福島 小名浜で来年３月就航

観光クルーズ船 応援を

いわきタクＧ・門馬代表、赤羽国交相に依頼

赤羽国交相（正面）と和やかに懇談する、いわきタクシーグループの門馬代表（右から2人目）（14日、東京・霞が関）

地方経済支える大きなエンジン

福島県いわき市のいわきタクシーグループ（門馬成美代表）と、同じ地元の物流企業、磐栄ホールディングス（村田裕之代表）の共同出資会社「小名浜デイクルーズ」の観光遊覧船が、来年3月にも就航する。門馬、村田両代表が14日、東京・霞が関の国土交通省に出向き、赤羽一嘉国交相に進捗を説明し、応援を依頼した。赤羽国交相は「観光は地方経済を支える大きなエンジン。一生懸命やらなければ」と快く応じた。

昨年9月、小名浜港で27年間運航していた遊覧船「いわきデイクルーズ」が終了。観光の目玉をなくしてはならないと、今年4月に新会社が立ち上がった。門馬氏が会長、村田氏が社長を務める。9月の開業を予定していたが、新型コロナウイルスの影響で先送りされた。赤羽国交相は昨年10月にいわきを訪れた際、協力を約束していた。

船体は全長23・82㍍、77㌧。100人前後が乗れるようにする。白地に、青とオレンジの曲線を描くデザイン。市観光物産センター「いわき・ら・ら・ミュウ」を発着地点とし、小名浜港内を巡る50分のコースを設定する。

門馬代表は「コロナで逆に時間に余裕を持てたので、これから大学の先生など、いろいろな方の意見を聞き、良いものにしていきたい。子供たちが海に親しんでくれる船にしたい」と思いを語った。

行革も話題に

大臣室への訪問には、赤羽氏と同じ公明党の若松謙維参院議員（比例）が同行した。クルーズ船のほか、コロナや行政改革が話題に上がった。

赤羽国交相は「新しいビジネススタイルの中で、行政のルールも変えていかないといけない。行政が変化を想像して先に行かないと」と強調。一例としてタクシーの点呼を挙げ、「1カ所に集めなければならないと（規定で）なっているが、三密の朝礼をするのなら、リモートで安全が担保できれば、もうちょっとばらけさせてもいいのでは」と話した。

国交省の組織体制にも言及し、「極端なことを言うと、自動車局とか、鉄道局とか、それぞれあるが、公共交通機関は住民の側から見れば、バス、鉄道、道路などの何かがあればいい。（局が）一緒になるのはだめだと平気で言うが、一緒にならないと公共交通なんてできなくなる時代が来るかも。『縦割りで言っていたら話にならない』というのが、菅総理の縦割り行政の打破だと思う。今までのように習慣で回していた行政では、とてもだめだ」と語った。

タクシー食料・飲料貨物運送では、「すごいチャンス。日本交通の川鍋（一朗会長）さんに聞くと、『将来、タクシー需要の1割ぐらいになるのでは』と。賢くて、出前をやらないような高級店の3万円の料理を運んで、3000円ぐらい取る。値段を設定していないのが少し心配だが、まだ新しいことなのでいろいろあると思う。日本交通はちゃんとした制服だから、ホテルの人のよう」と評価した。

創刊60周年あいさつ

感謝と使命

東京交通新聞社
代表取締役社長　仁平 英紀

東京交通新聞はこの秋、創刊60周年を迎えました。交通関係業界、行政をはじめとする多くの方々に支えられて紙齢を刻むことができました。何よりも皆さまのご指導、ご支援の賜物と、心より厚く御礼申し上げます。

国内外では目下、新型コロナウイルスという目に見えない敵との戦いを強いられております。デジタル化・リモート化、人口減少、自動運転・ＭａａＳといった交通・移動分野をめぐる事業環境の変化は、一段と激しさを増すばかりです。新しいモビリティ形態が各地で提案される中、人々の生活を支える安全・安心な公共交通への期待はさらに高まっているものと認識しております。

未来展望に立って

都市・地域の公共交通の専門紙として、的確な情報をお届けし、社会経済の発展に役立つ報道に引き続き努めてまいります。未来を展望できる紙面作りに励んでまいります。

これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

4～7面に記念特集

ラインナップ

3 くらしの足全国フォーラム

「くらしの足をみんなで考える全国フォーラム」が11日、オンライン形式で開かれ、登壇者が新型コロナウイルス禍での「移動の自由」を語り合った。家庭と他人、社会を結ぶ交通の意義を再認識した。

2 9月タク営収全国平均68%
9 水戸でバス・タククーポン
10 ＸＴａｘｉが金沢で理事会

「新常態タク」試験運行開始

日交と宮園自で各1台

東京ハイヤー・タクシー協会（川鍋一朗会長）は12日、新型コロナウイルス感染防止対策として、タクシー車内に空気清浄機と清浄の具合が分かるモニターを備えた「ニューノーマル（新常態）タクシー」の試験運行を始めたと発表した。2台で、日本交通（千代田区、若林泰治社長）と宮園自動車（中野区、川村泰利社長）が1台ずつ走らせている。

来年の春をめどに車両を正式に発表し、導入する計画。

「（来年夏予定の2020年）東京オリンピックまでに、『世界一空気のきれいなタクシー』を普及させたい」としている。

人と人とをつなぐ 架け橋に
帝都自動車交通株式会社

Go タクシーが呼べるアプリ

本紙からのお知らせ

■ 新聞購読のお申し込み ■

フリーダイヤル 0120－52－2184
ＦＡＸ 03－3352－2186
http://www.toukou-np.co.jp/
ホームページからのお申し込み
http://www.toukou-np.co.jp/koudokuhyou3.html

■ ホームページ ■

http://www.toukou-np.co.jp/
最新ニュースなどを掲載。メールマガジンお申し込みも受付中。

■ 部門別Ｅメール ■

編集局（取材・紙面・写真）
hen@toukou-np.co.jp
pht@toukou-np.co.jp
出版部（書籍・定期刊行物）
book@toukou-np.co.jp
営業局（購読・広告）
bsn@toukou-np.co.jp
管理本部（全般）
hon@toukou-np.co.jp

読者とともに
創刊60周年 交通新聞

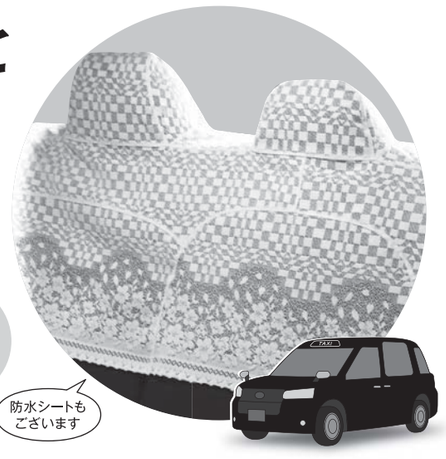
ディーゼルジャンボ4WD車お届けします!!
★燃料コスト削減の切り札です★

・ハイエース現行車、キャラバンNV350 10人乗り ディーゼル4WD車お届けします、ご相談ください。
・14人乗りコミューターディーゼル4WDもあります。
・雪国のタクシー会社様にご好評です。お問い合わせお待ちしております。
※登録諸費用は、別途お預かりいたします。

＊ 他、オプション架装有り。
＊ 詳しくは、資料をご請求ください。
＊ 全国どこでもデモ車でお伺いします。
＊ NOx・PM対策地域でも登録OKです。
＊ 貴社仕様、承ります。ご相談ください。

ディーゼルジャンボ車のパイオニア
ハイエース・キャラバン　ディーゼルジャンボ車　製作・販売
福祉車両・特種車両　設計・製作・販売
有限会社 バンクラフト
〒383-0064　長野県中野市新井508－2
TEL 0269-26-0078　FAX 0269-23-2218
URL http://www.rv-vancraft.com
E-mail vancraft@janis.or.jp

日本のおもてなしを さらに印象深く。
トヨタジャパンタクシー専用シートカバー。
市松模様をアレンジし日本の花をあしらった、おもてなしを演出します。
他にも社名表示灯、パンフレットケース、フロアマットなどをご用意しています。



お問い合わせはこちらへ
株式会社リード
●本社 〒486-0915 愛知県春日井市八幡町72-11
TEL (0568)31-7700　FAX (0568)31-6042
http://www.lead-web.co.jp　mail@lead-web.co.jp
●東京営業所 ●横浜営業所 ●大阪営業所 ●九州営業所 ●札幌営業所 ●長野営業所 ●岡山営業所 ●仙台営業所
LEAD